

空圧ディスクブレーキ 取扱説明書

DB-3034A



- 本取扱説明書をよく読み、御理解いただいたうえで御使用下さい。
- 不適切な取扱い、整備は、危険を招く恐れがあります。

三陽商事株式会社

本 社 〒563-0255 大阪府箕面市森町西3丁目2番45号
TEL (072) 736-8834 FAX (072) 736-8961

東京営業所 〒108-0014 東京都港区芝4丁目9番3号(芝石井ビル)
TEL (03) 3769-3434 FAX (03) 3769-1033

名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目20番25号(YMDビル)
TEL (052) 231-3455 FAX (052) 231-3566

目 次

1. 安全上の御注意.....	- 1 -
2. はじめに.....	- 1 -
3. 警告事項.....	- 2 -
4. 取付け方法.....	- 3 -
5. 概 要.....	- 4 -
5-1. 構成部品.....	- 4 -
6. 仕 様.....	- 5 -
7. 保守点検.....	- 6 -
7-1. パッドの取り替え.....	- 6 -
7-2. 消耗品リスト.....	- 9 -
7-3. パッドの鳴きについて.....	- 9 -
8. トラブルシューティング.....	- 10 -

用語説明

パッド押付力：ブレーキ装置が、ディスク（回転円板）とパッド（摩擦材）を押し付ける力で
ブレーキ力を発生する元となる力



エアーギャップ：ディスク（回転円板）とパッド（摩擦材）とのスキ間

解 放：エアー供給を停止することによりパッド押付力をゼロにして、ブレーキ力を
取り除くこと

設定エアー圧力：ブレーキ力の発生に必要な、供給エアー圧力

1. 安全上の御注意

これらの安全導入事項は危険な状態・設備機器破損を防ぐことを目的としています。
ここでは、“警告”・“注意”によって危険状態のレベルを示しています。
安全確保のためには、ISO・JISの安全慣習を参照して下さい。

 警告	誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

2. はじめに

この度は、空圧ディスクブレーキを御採用いただき誠に有難うございます。
本機を安全に、また、末永く性能を維持してお使いいただくために、御使用前に必ず本取扱説明書をよく読み、御理解いただいたうえで正しい取り扱いと保守を行なっていただくよう、よろしくお願ひ申し上げます。

3. 警告事項



- 御使用前及び、日常保守点検時に、必ずパッド残厚が 7 mm以上あることを確認して下さい。

パッド残厚が 7 mm未満になると、ブレーキが作動しなくなることがあるため危険です。7. 保守点検を参照下さい。



- 保守点検時は、ディスクが回転しないようにして下さい。

エア供給を停止している時は、パッド押付力がゼロになり、ディスクが回転すると重大な事故につながる恐れがありますので、作業前に必ず別系統のブレーキをかけるか、又は、メカニカルロックし、ディスクが回転しないことを確認後、保守点検を行なって下さい。



- ディスクの摺動面を清浄にして下さい。

ディスクの摺動面の油脂、錆等を除去して下さい。これを怠ると、必要ブレーキトルクが確保できず危険です。



- 不必要な分解を行なわないで下さい。

不必要な分解は、異物の侵入等による作動不良につながり、危険を招く恐れがありますので、パッド（摩擦材）以外の内部消耗品の交換を要する場合は、弊社へ御相談下さい。



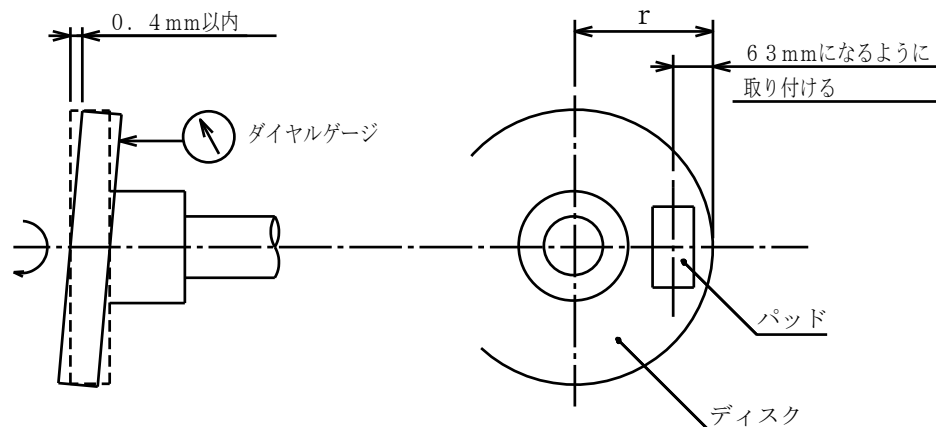
- 指づめに御注意願います。

保守点検などでブレーキに手を触れている時は、操作用のエアの入切を行なわないで下さい。

4. 取付け方法

- (1) 回転軸に装着したディスクは、軸方向に移動しないように確実に取り付けて下さい。
- (2) ディスクの振れはディスク最大外径の位置で、軸方向の振れを0.2mm以内になるようにして下さい。
- (3) ディスクの中心とキャリパーの中心（中心のずれ1mm以内）は一致させ、パッド中心はディスク外端から6.3mmディスク中心より、正確に取り付けて下さい。

($r = \text{ディスク外径半径} - 6.3 \text{ mm}$)

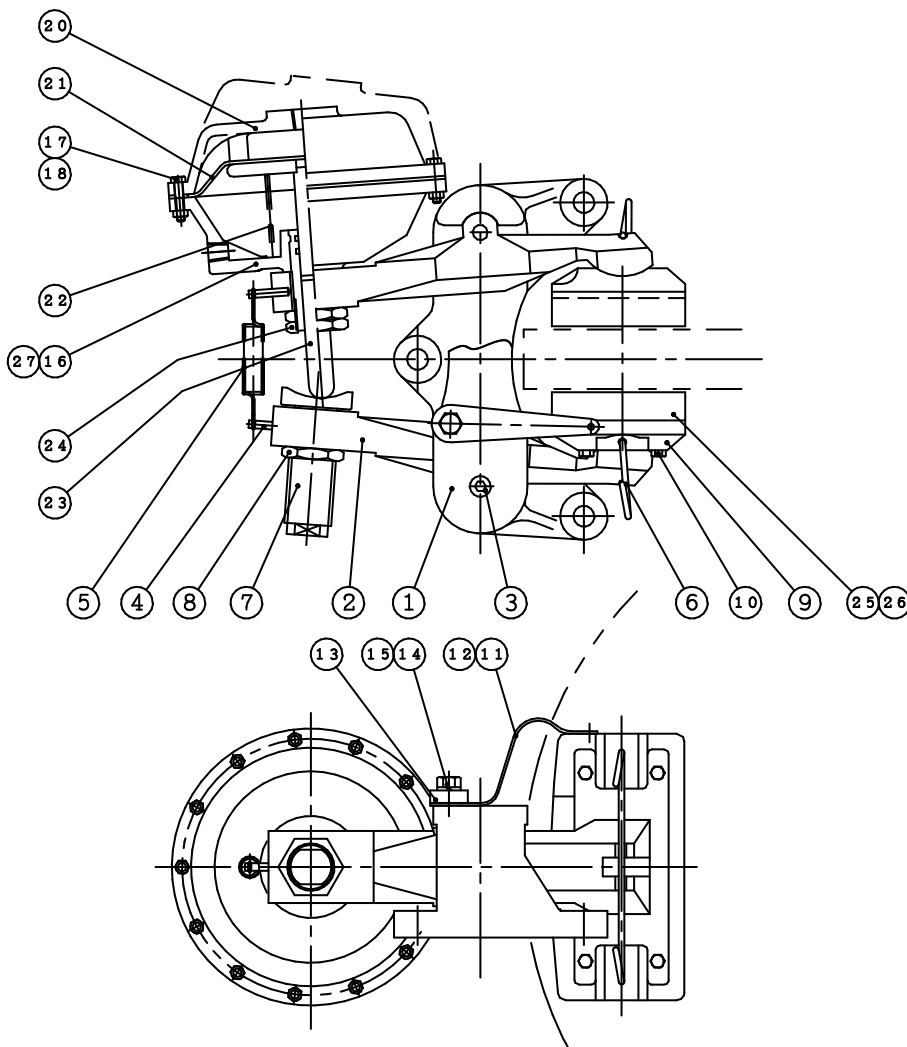


- (4) このブレーキ取付けは、ブレーキ本体に3ヶ所キリ穴加工をしてありますので、これを御利用下さい。
取付けボルト M12（強度区分10.9）×3本
締め付けトルク = 10.7 Nm
- (5) ディスク摺動面とパッドの摺動面は必ず平行に取り付けて下さい。
- (6) ブレーキへの供給エア配管は、必ずフレキシブルホースを使用し、ブレーキのチャンバ部分が自由に動けるようにして下さい。尚、ブレーキのエア供給口サイズは、Rc1/4です。
- (7) 各配管を保持し、必要ならばこれらを保護して下さい。
- (8) ブレーキを設置する場所には、日常保守点検、及び調整が行なえるスペースを確保して下さい。また、ディスク及びブレーキには直接水がかからないようにし、かかる恐れがある場合は、必ずカバー等を取り付けて下さい。
- (9) ディスク表面に油・グリース・ゴミ等が付着しない様、特に注意して下さい。又、付着している時は、シンナー等できれいに拭き取って下さい。
- (10) 最後にチャンバ取付けのロックナット、及び他のボルトが確実に締め付けられているか確認して下さい。

5. 概 要

この空圧ディスクブレーキは、任意のエア圧を供給することにより、パッド押付力を発生し、スプリングにより解放するブレーキです。コンパクトな構造で、取付けも簡単でスペースを取りません。その上、熱の放散が良く、又解放時パッドとディスクの隙間は、リターンスプリングにより保証されてますので、全く調整する必要がありません。パッドの取り替えは極めて簡単で速やかに行なうことができます。

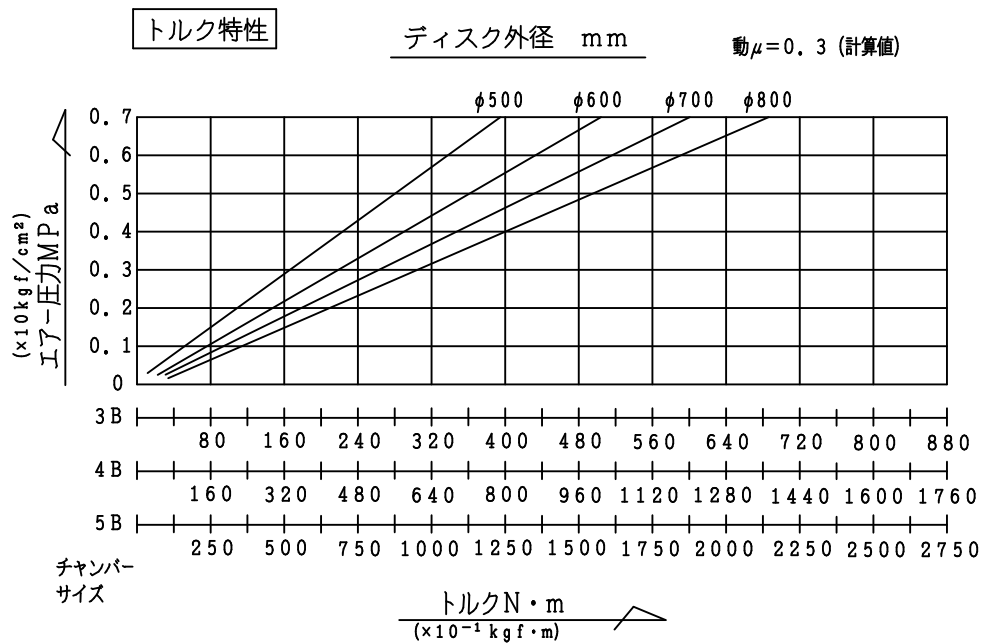
5-1. 構成部品 (絵は、DB-3034A-5 を示す)



27	銘板 Assy	1
26	バックリングプレート	2
25	パッド	2
24	ナット	2
23	プッシュロッド	1
22	リターンスプリング	1
21	ダイヤフラム	1
20	Rキャップ	1
19		
18	六角ナット	1 3
17	六角ボルト	1 3
16	Fキャップ	1
15	バネ座金	2
14	六角ボルト	2
13	スリーブ	2
12	パラレルピン	2
11	パラレルプレート	2
10	六角ボルト	8
9	パッドシュー	2
8	ナット	1
7	アジャストボルト	1
6	ライナーズプリング	2
5	リターンスプリング	1
4	スプリングピン	2
3	六角穴付ボルト	2
2	アーム	2
1	本体	1
No	PARTICULARS	QTY

6. 仕 様

キャリパー型式	DB-3034A-※
※チャンバーサイズ	3(B)・4(B)・5(B)
パッド型式	DB-0435
パッド摩耗代	15mm以下
推奨ディスク外径	Φ500mm以上
適用ディスク厚さ	38mm
最大使用エア圧力	0.69MPa
エア供給口	Rc1/4
レバ ー 比	1.2
質 量	約14kg



7. 保守点検

	項 目	点 検 箇 所	期 間	基 準
1	本体取付けボルトの緩み	M12×3本	1ヶ月	締め付けトルク (強度区分 10.9ボルト使用) T=107Nm
2	チャンバー用 ロックナットの緩み	部品番号 (24) G3/4×2個	1ヶ月	締め付けトルク 3B・4B T=24.5Nm 5B T=34.3Nm
3	パッド消耗	“パッド取り替え” 項目を御参照下さい		残厚が7mm時に取り替え
4	エアー漏れ	配管及びチャンバー		エアー漏れ無きこと



危険ですのでシリンダー Assy は分解しないで下さい。

7-1. パッドの取り替え

パッド残厚が7mm時、又はプッシュロッドのストロークエンド（赤色）が見えた時、次頁の要領で純正パッドと取り替えてください。



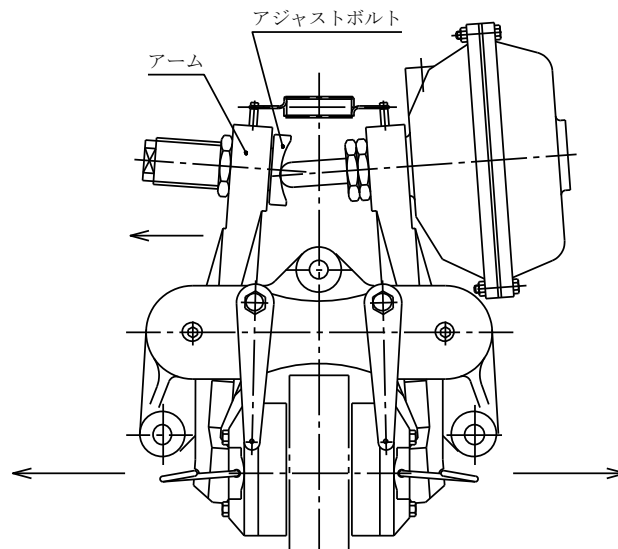
パッドの取り替え時は、ディスクが回転しないようにして下さい。

圧縮空気の供給を停止している時は、パッド押付力がゼロになり、作業中にディスクが回転すると重大な事故につながる恐れがありますので、作業前に必ず別系統のブレーキをかけるか、又は、メカニカルロックし、ディスクが回転しないことを確認後、作業を行なって下さい。

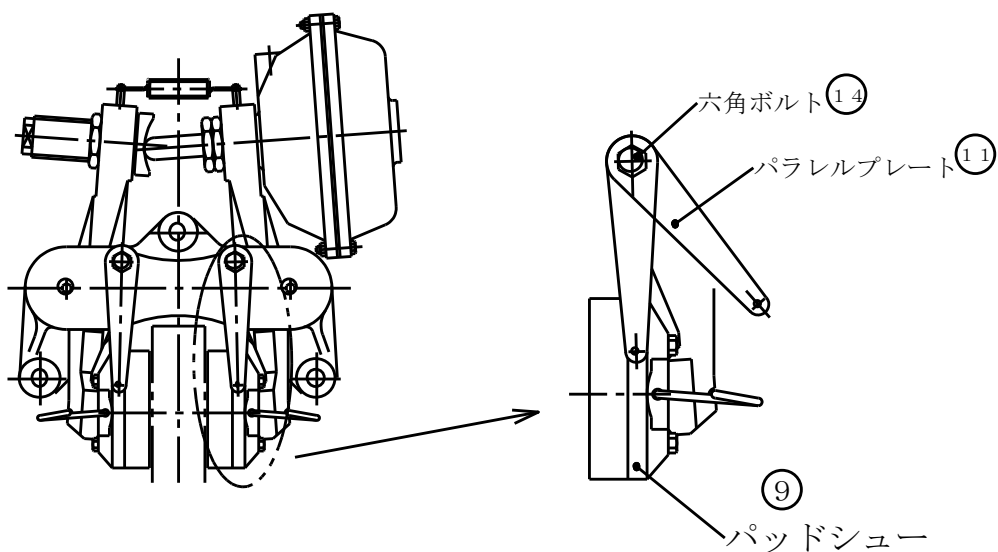


指づめの恐れがあり、危険ですのでパッド交換作業中に
圧縮空気の供給を行なわないで下さい。

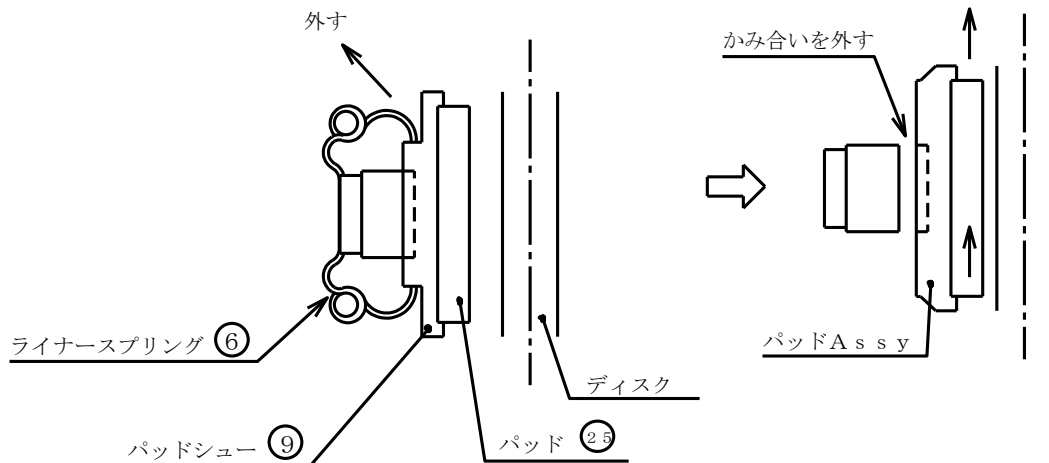
1. アジャストボルト（7）をアーム（2）側へ戻し、ブレーキをOFFにする。



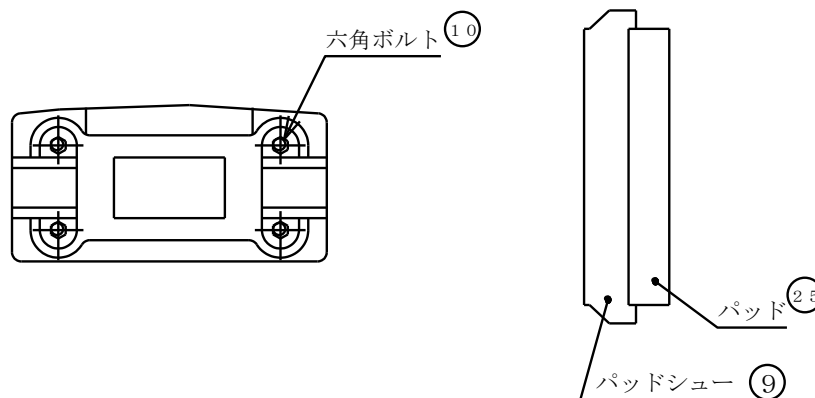
2. 六角ボルト（14）を緩めた後、平行プレート（11）の先端を上を持ち上げて、先端に取り付けられているピンをパッドシュー（9）から外して下さい。



3. パッドシュー (9) の上下の穴 (計 2ヶ所) にライナースプリング (6) の先端がはまり込んでいるので、ライナースプリング (6) を上下に引っ張り、取り外した後、パッド A s s y (パッド (25) +パッドシュー (9)) をアーム (2) より取り外して下さい。



4. 六角ボルト (10) を取り外し、パッド (25) をパッドシュー (9) から取り外して下さい。



5. (4)と逆の手順で新品の純正パッド (25) をパッドシュー (9) に取り付け、ライナースプリング (6) をパッドシュー (9) の上下の穴に確実に取り付けて下さい。
6. パラレルプレート (11) のピンをパッドシュー (9) に取り付けて、六角ボルト (14) を締め付けて下さい。

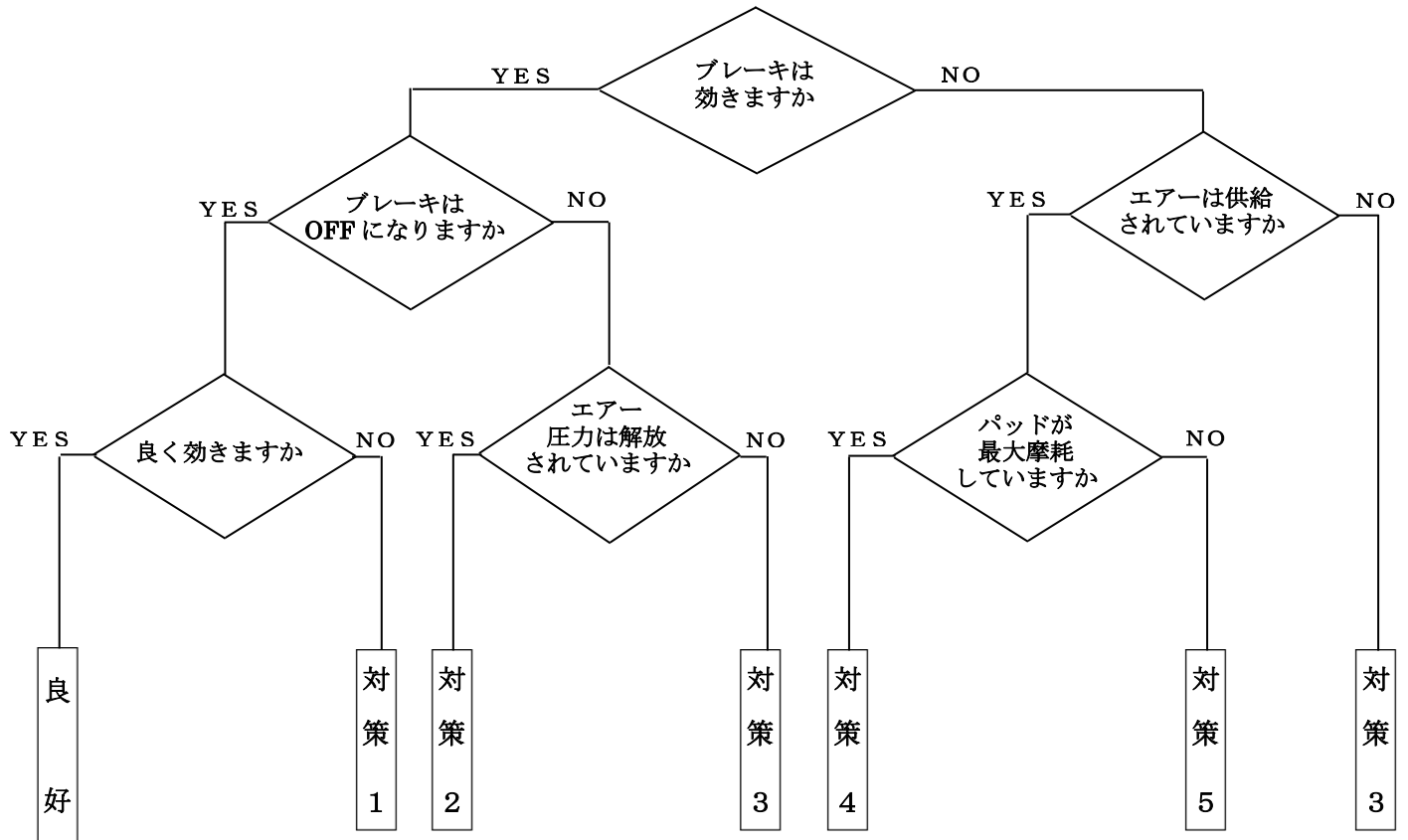
7-2. 消耗品リスト

	部 品 名 称	部 品 番 号	個 数	交 換 時 期
1	パッドA s s y 型式DB-0435	パッド(25)+ バックアッププレート(26)	2 / 1 キャリパー	残厚7mm時
2	チャンバーA s s ' y サイズ3B,4B,5B,	(16)~(23)	1 / 1 キャリパー	30万回作動後 又は3年間(推奨)

7-3. パッドの鳴きについて

ブレーキ作動時(ブレーキON時)にキーキー、ガーガー、グーグー等、異音がすることがあります。これを『パッド鳴き』と言います。この『パッド鳴き』現象については弊社としては、クレーム対象外としています。それは、パッド鳴きのメカニズムが複雑であり、ブレーキ本体の問題だけではなく、取り付けブラケットの剛性や、ディスク取り付け軸の剛性に大きく影響されるからです。万が一、パッド鳴きが発生した場合は、弊社まで御連絡下さい。詳しい状況をお聞きした上で、適切な対策案を御案内させていただきます。

8. トラブルシューティング



対策 1 エアギャップを確認して下さい。また、ディスクのパッド摺動面の油脂・錆等を除去して下さい。

対策 2 ディスクの振れや軸方向の移動はないか、また、エアギャップ及び供給エア圧力は正規値になっているか確認して下さい。

対策 3 エア供給源、配管、バルブ類及び電気回路に異常がないか確認して下さい。

対策 4 パッドを交換して下さい。

対策 5 エアギャップの確認と調整を行なって下さい。